

4・19フリーチベットin名古屋デモから三ヶ月、五輪を間近に控えた中国共産党に再度投げかける

チベットの現状と五輪の行方

~DO YOU KNOW TIBET?~

今、チベットで何が起きているのか？

3.10ラサでのチベット僧らによる大規模デモ、世界各地で繰り広げられた五輪聖火リレーへの抗議行動

そして、記憶に新しい日本・長野でも…出発地点を辞退した善光寺の潔い良心

全世界を巻き込む人権蹂躪への非難の声、声。平和の祭典は平和であり続けるのか？

2008年 7月19日(土)

18:00開場18:30開演21:00終了

入場料 500円(高校生以下無料、学生証の提示をお願い致します)

当日先着順、立ち見は不可になります。

前売り券に関しては、各イベントにて販売いたします。

なお前売り券購入の方には座席を確保させていただきます。

政治学者・桐蔭横浜大学法学部教授
ペマ・ギャルポ (Pema Gyalpo) 氏



■プロフィール
1953年チベットのカム地方ニヤロン(現在の中国四川省)生まれ、65年来日。73年チベット文化研究会を設立、80~90年ダライ・ラマ14世法王アジア・太平洋地区担当初代代表。著作・TV・新聞・雑誌などメディアにても活動している。現在、桐蔭横浜大学大学院法学研究科教授、政治学博士。

在日中国民主化活動家・[自由アジア放送]東京特派員

王 進忠 氏



■プロフィール
1963年中国北京生まれ。1987年に和光大学の研究生として来日。以来、日本で中国民主化運動を続ける。1989年の天安門事件の際、民主化運動を支援する。「民主中国陣線本部」を設立し、現在は民主中国陣線外交委員会アジア部主任『中国民主団結聯盟』副主席・日本分部主席在日中国人向け新聞新華僑報で連載を持つなど作家、ジャーナリストとしても活躍中。

第一部 基調講演
講師

ペマ・ギャルポ氏
王 進忠 氏

第二部 パネルディスカッション
パネリスト

在日外国人の皆さま

ビルマ民主化支援会 日本代表
内モンゴル人民党 日本代表
世界ウィグル会議 代表
SFTジャパン 代表
中国 法輪功 学習者

五輪開会式直前 8月3日(日)

フリーチベットin名古屋
第二回デモ決定しました

前回同様スタッフの募集を
しています。詳しくはもよりの
スタッフまで

【会場】

名古屋市青少年文化センター
(アートピア)

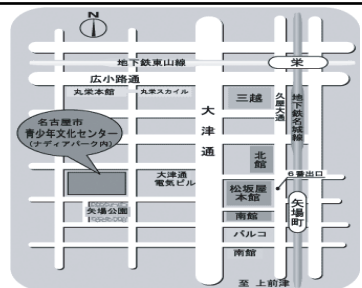
〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目18番1号

ナディアパーク内

TEL052(265)2088 FAX052(265)2187

会場への直接の連絡はご遠慮願います。不明点等は事務局までお願いいたします。



フリーチベットin名古屋

事務局 fretibet-in-nagoya@mail.goo.ne.jp 0564-22-6012

ダライ・ラマ法王日本代表部事務所の見解

1：チベットの事を知ってもらいたい

チベットは1949年に中国が建国されて侵略されるまで、ずっと独立国家でした。

チベット人は独自性に富んだ豊かな文化・宗教・言語・美術などはぐくんできました。

しかし今、その全てが中国の手によって完全に消されつつあり、まさに「文化的虐殺」が行われています。チベットの文化や国家のアイデンティティを消し去り、中国風に作り変えようとしています。中国による政治的迫害・投獄・拷問・飢餓によって死んだチベット人は、チベット人の人口の約6分の1にあたる120万人以上にのぼります。また、6,000以上の寺院が破壊され、様々な文化施設も破壊されました。1959年、こうした事態の中、宗教・政治両面においてチベット人600万人の最高指導者ダライ・ラマ法王は、やむなくインドに亡命しました。また、85,000人へのぼるチベット人がダライ・ラマ法王を追ってインドを始め、ネパールやブータンへ亡命しました。

現在、チベット人にとって差し迫った危機は、チベットに中国文化と中国人が大量に流れ込んでいることです。もともと中国人の入植は、共産党の方針で始まりましたが、その結果いまやチベットとチベット人は中国に同化されつつあります。チベット人独自のアイデンティティやチベット古来の文化は中国に飲み込まれる寸前に来ており、存続の危機に瀕しています。今では、チベット人600万人より中国人750万人の人口の方が多のです。

また、大量の中国人が入植した結果、チベット人たちは経済的・政治的・社会的な弱者となり、差別的な待遇を受けています。中国統治下のチベットでは豊かな環境も破壊され、野生動物・水源・鉱物・植物・森林などの宝庫でしたが、それらの天然資源や貴重な生態系は回復不可能なダメージを受けています。チベットに2006年7月に北京からラサへ通じる鉄道が開通したことで、これらの問題は一層深刻になりました。□

2：ダライ・ラマ法王は独立を望んではいない

ダライ・ラマ法王は、現在の国際政治状況を冷静に判断し、独立を求め続けるのは非現実的であると考えて、「高度な自治」を求めるという

「中道のアプローチ」を提唱しました。中国政府の抑圧に対して自由を求め、チベット人のアイデンティティと文化の消滅から救うために、現実的な手段として「高度な自治」を獲得するために対話を求めています。□□

3：「高度な自治」の中での漢民族について

チベットが求める「高度な自治」の具体的な範囲は、中国によるチベット侵略が行われる前の国土（チベット高原：2,500,000 k m²）全域で、現在チベット自治区と呼ばれる地域の約2倍にあたる地域です。現在は四川省や青海省などに分割されていますが昔の行政区分で「ウ・ツァン」「アムド」「カム」に当たる全ての地域です。そこまでいくと、当然中国による侵略前からも非常に少ないとは言え漢民族が住んでいた地域があります。しかし、私達チベット人が「高度な自治」を勝ち取っても、現在いる漢民族らを追い出したりするような事はしません。

チベットはチベット人のものです。これは変わりません。しかし、既にチベットにいる漢民族達に罪はなく、また、本当に当時からの漢民族の子孫も非常に少ないとはいえ居ます。漢民族は「マスター」ではなく「ゲスト」として静かに暮らすべき、というのが我々の考えている形です。対外的な政治や行政は北京政府に任せながらも、チベット人の文化・生活・祭典・「パンチェン・ラマ認定」などのチベット民族のアイデンティティに関することは、チベット人自身の手で決定しなければなりません。ただ、仏教研究に関しては、今の中国化されたチベット人よりチベット仏教に詳しい漢民族の方もおられるかも知れませんが、最終的にはチベット人の手に委ねられるものの、彼等との意見交換などについては歓迎します。チベット仏教を守りつつ、チベット人として私達は平和に歩みたいのです。□□

4：本当の民族文化を知ってほしい

現在見られるチベット文化は、ほとんどが中国の統治下で影響を受けてしまったものであり、我々チベット人とチベット人のアイデンティティとは何かを知るためにも、是非チベットへ足を運んだり、客観的な本や写真や記録などで、チベット人のチベット民族文化を知って欲しい。

山々に囲まれた美しい環境や豊かな文化・チベット仏教美術の世界・チベット人のメンタリティなど、チベットの文化は見るところが沢山あります。チベットと日本には共通点もあると言われ、親しみを感じられると思います。□□

5：政治家を動かす

チベット問題は深刻な現在進行形の人権問題で、国際社会からの支援も拡大しつつあります。世界各国の議会で政府声明についての決議や、法案・動議、聴聞・討議が行われるようになりました。

チベットのためにデモを行われる方々も増えています。大変嬉しいことです。

日本には言論の自由があり、言いたいことが言えます。しかし、デモだけでは現在の政府を動かすのは難しいです。日本ではなかなかチベット問題が話題にならない。なぜか？ それは国会で取り上げ、真面目に討議して議会で決議を出そうとする政治家がいないからです。

ですから、日本の皆様には、チベットについて国会議員や市議会議員に手紙を書き、議会でチベット問題を取り上げるように求めて下さい。そして、ダライ・ラマ法王と中国政府のチベットに関する直接の公開対話を支持するよう求めて下さい。

欧米では、ある有名な議員候補が演説をして各地を回っていました。そこに一人の女の子が来て「チベット問題ってどう思いますか？」と聞いたのです。その議員は恥ずかしそうに「ごめんね、知らないんだ」と言いました。しかし、次に同じ場所に演説に来たときには、彼は恥をかいて票を落とすまいとチベットについてしっかり勉強しており、同じ質問に対して自分の意見をきちんと述べて、喝采を浴びました。政治家の方も自分の立場を考えていますから。日本にはそういう気骨のある政治家が少ない。だから、政治家を動かして欲しいのです □□

6：五輪とは別

今回ほどチベット問題への関心が国際的に高まったことはありません。そのため、「ダライは五輪を狙ってチベットで騒乱を起こした」とか

「ダライは五輪を妨害しようとしている」と中国政府は言います。しかし、それは全くの間違いです。ダライ・ラマ法王は中国の五輪開催を支持しています。中国は世界の中でも希に見る大国の一つですし、大変国際社会の中で存在感があります。十分に五輪を開催する資格を有すると考えています。そして、それを機会に漢民族にも自信を持ってもらい、先進国としての発展を期待しています。ダライ・ラマ法王は中国の五輪開催を支持しています。□□

7：ウイグルなどの他の民族と連帯はできない

中国には現在チベット問題以外にも様々な民族紛争が見られます。ウイグル・モンゴル・満州・朝鮮など……様々な民族が中国大陸にはいて問題を抱えています。我々はチベット問題を全力で闘っていますが、ウイグルなどの民族と連帯しないのかと言われます。しかし、私達はあくまでダライ・ラマ法王事務所として、ダライ・ラマ法王の提唱した「高度な自治」と「中道のアプローチ」を訴えかける立場にあって、それ以外とは言えません。日本の皆様には、是非他の民族問題にも関心を持ってもらい、漢民族を含めての各民族が文化とアイデンティティを守りつつ平和に暮らせるように、行動を起こして頂きたいです。

以上の文章は、フリーチベットin名古屋のスタッフが事務所へ訪問してインタビュー形式で質問をした際の回答を内容抜粋したものです。

私たちのホームページにも是非訪問してください。
今後の活動について詳しく書いています。

<http://free-tibet-hiro.iza.ne.jp/blog/>